

設問4 通学距離・通学時間(適正配置)について

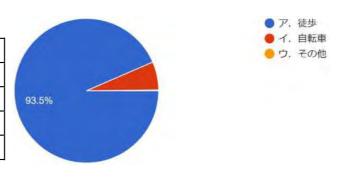
(1)お子さんは現在、どのような手段で通学していますか。次のア〜ウから<u>1つ</u>選んでください。

【選択肢】

	·· ·
ア	徒歩
1	自転車
ウ	その他

【集計結果】(単位 左:人 右:%)

	保護者		
ア	504	93.5	
イ	34	6.3	
ウ	1	0.2	
合計	539	100.0	



【概要】

95%近くの生徒が徒歩で通学している。

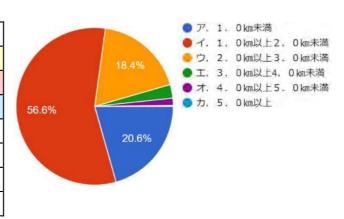
(2)お子さんの通学距離はおよそどのくらいの距離がありますか。次のア〜カから<u>1</u> つ選んでください。

【選択肢】

	··-· ·-
ア	1. Okm未満
1	1. Okm以上2. Okm未満
ウ	2.0km以上3.0km未満
エ	3.0km以上 4.0km未満
オ	4. Okm以上5. Okm未満
カ	5. Okm以上

【集計結果】(単位 左:人 右:%)

	保護者		
ア	111 20.6		
イ	305	56.6	
ウ	99	18.4	
エ	15	2.8	
才	8	1.5	
カ	1	0.2	
合計	539	100.0	



【概要】

「イ 1.0km以上2.0km未満」の回答がもっとも多い。 通学距離が「3.0km未満」の生徒は90%程度である。

- (3)中学校の通学距離は、法令(※)ではおおむね6km以内としていますが、<mark>徒歩または自転車</mark>で通学する場合、どの距離までが通学可能と考えられますか。次のアートルの1つ選んでください。
 - (※)義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令

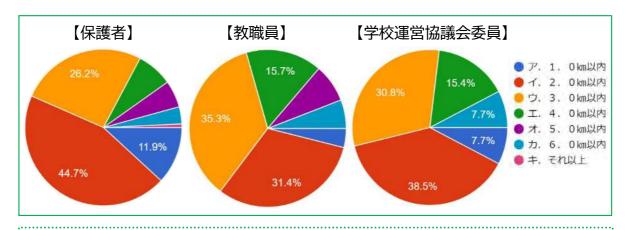
【選択肢】

ア 1.0km以内	オ 5.0km以内
イ 2.0km以内	カ 6.0km以内
ウ 3.0km以内	キ それ以上
エ 4.0km以内	

【集計結果】

(単位 左:人 右:%)

	保護	者	教暗	战 員	運営協議	会委員
ア	64	11.9	2	3.9	1	7.7
イ	241	44.7	16	31.4	5	38.5
ウ	141	26.2	18	35.3	4	30.8
エ	40	7.4	8	15.7	2	15.4
才	30	5.6	4	7.8	0	0.0
カ	19	3.5	3	5.9	1	7.7
丰	4	0.7	0	0.0	0	0.0
合計	539	100.0	51	100.0	13	100.0



【概要】

三者とも「イ 2.0km以内」「ウ 3.0km以内」の回答が多くを占めている。保護者は「ア 1km以内」の回答率も高く、通学距離をなるべく短くしたい傾向がある。保護者の傾向は小 学校アンケートにおいても同様である。

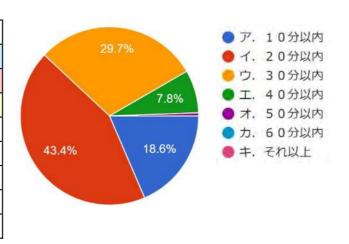
(4)お子さんの通学時間はおよそどのくらい時間がかかりますか。次のア~キから<u>1</u> つ選んでください。

【選択肢】

ア	10分以内
1	20分以内
ウ	30分以内
エ	40分以内
才	50分以内
カ	60分以内
丰	それ以上

【集計結果】(単位 左:人 右:%)

	保護者		
ア	100	18.6	
イ	234	43.4	
ウ	160	29.7	
エ	42	7.8	
才	3	0.6	
力	0	0.0	
キ	0	0.0	
合計	539	100.0	



【概要】

「イ 20分以内」の回答がもっとも多い。 通学時間が「30分以内」の生徒は90%程度である。

- (5)中学校の通学時間は、法令(※)ではおおむね60分以内としていますが、<u>徒歩または自転車で通学する場合</u>、どのくらいの時間までが通学可能と考えられますか。次のア~クから**1つ**選んでください。
 - (※)義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令

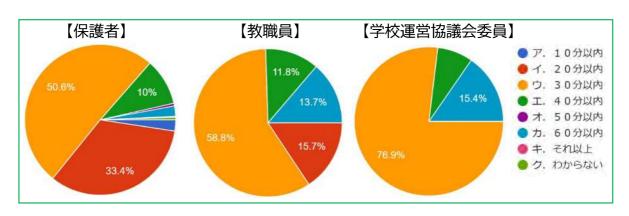
【選択肢】

ア 10分以内	オ 50分以内
イ 20分以内	カ 60分以内
ウ 30分以内	キ それ以上
工 40分以内	ク わからない

【集計結果】

(単位 左:人 右:%)

	保護 保護	保護者教職員		战員	運営協議会委員	
ア	13	2.4	0	0	0	0.0
イ	180	33.4	8	15.7	0	0.0
ウ	273	50.6	30	58.8	10	76.9
エ	54	10.0	6	11.8	1	7.7
才	3	0.6	0	0.0	0	0.0
力	12	2.2	7	13.7	2	15.4
キ	1	0.2	0	0.0	0	0.0
ク	3	0.6	0	0.0	0	0.0
合計	539	100.0	51	100.0	13	100.0



【概要】

三者とも「ウ 30分以内」の回答がもっとも多い。 小学校アンケートと比較すると、通学可能時間は長い傾向にある。

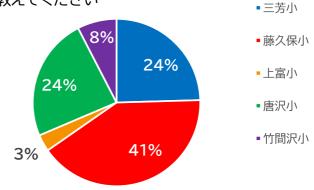
4 アンケートの集計結果について(児童生徒)

(基本情報について)

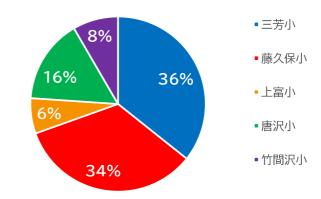
(1)児童生徒アンケート基本情報について

○あなたが通っている学校・学年を教えてください

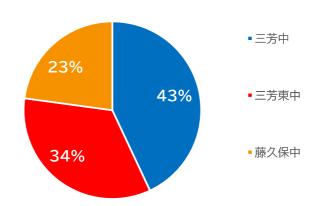
学 校	人数(人)
三芳小・3 年	68
藤久保小・3年	113
上富小・3年	9
唐沢小・3年	66
竹間沢小・3年	21
計	277



学 校	人数(人)
三芳小・6年	115
藤久保小・6年	109
上富小・6年	21
唐沢小・6年	50
竹間沢小・6年	27
計	322



学 校	人数(人)
三芳中・3年	130
三芳東中・3年	103
藤久保中・3年	69
計	302



設問1 学校のクラス数・クラスの人数について

(1)1つの学年は何クラスあるとよいと思いますか。次のア〜カから<u>1つ</u>選んでください。

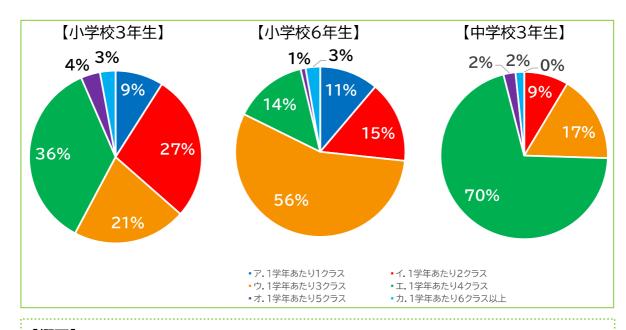
【選択肢】

ア 1学年あたり1クラス	エ 1学年あたり4クラス
イ 1学年あたり2クラス	オ 1学年あたり5クラス
ウ 1学年あたり3クラス	カ 1学年あたり6クラス以上

【集計結果】

(単位 左:人 右:%)

	小学校 3 年生		小学校6年生		中学校	3年生
ア	25	9.0	36	11.2	0	0.0
イ	76	27.4	50	15.5	26	8.6
ウ	59	21.3	179	55.6	51	16.9
エ	99	35.8	45	14.0	213	70.5
才	10	3.6	3	0.9	7	2.3
カ	8	2.9	9	2.8	5	1.7
合計	277	100.0	322	100.0	302	100.0



【概要】

「イ 1学年あたり2クラス」、「ウ 1学年あたり3クラス」、「エ 1学年あたり4クラス」に回答が集中している。

小学校では「ア 1学年あたり1クラス」の回答も複数見られる。 中学校では「ア」の回答はなく、「エ」に回答が特に集中している。 (2)1クラスの人数は、何人いるとよいと思いますか。次のア〜オから<u>1つ</u>選んでくだ さい。

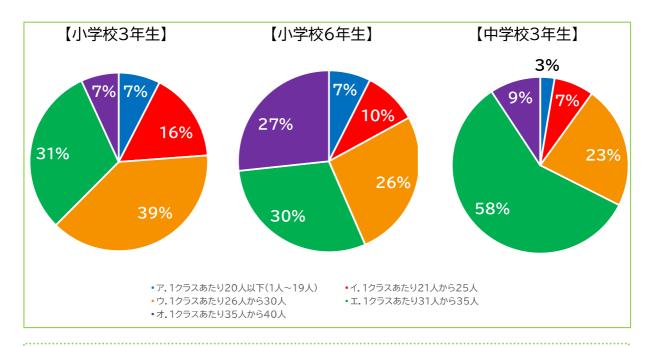
【選択肢】

ア 1学級あたり20人以下	エ 1学級あたり31人から35人
イ 1学級あたり21人から25人	オ 1学級あたり35人から40人
ウ 1学級あたり26人から30人	

【集計結果】

(単位 左:人 右:%)

	小学校 3 年生		小学校6年生		中学校3年生	
ア	21	7.6	24	7.5	8	2.6
イ	45	16.2	31	9.6	22	7.3
ウ	107	38.6	85	26.4	68	22.5
エ	85	30.7	96	29.8	176	58.3
才	19	6.9	86	26.7	28	9.3
合計	277	100.0	322	100.0	302	100.0



【概要】

「ウ 1クラスあたり26人~30人」、「エ 1クラスあたり31人~35人」の回答が多いが、小 学校6年生は「オ 1クラスあたり36人~40人」の回答も多く見られた。

保護者、教職員等へのアンケートと比較すると、より多い人数のクラスを回答している傾向にある。

設問2 通学時間について

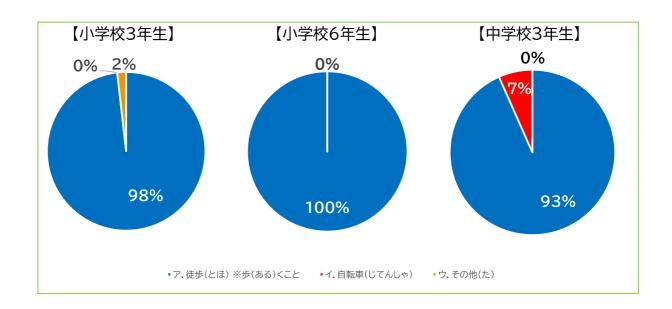
(1)あなたはふだんどのような手段で通学していますか。次のア〜ウから<u>1つ</u>選んでください。

【選択肢】

ア	徒歩
1	自転車
ウ	その他

【集計結果】(単位 左:人 右:%)

	小学校 3 年生		小学校6年生		中学校3年生	
ア	272	98.2	322	100.0	282	93.4
イ	0	0.0	0	0.0	20	6.6
ウ	5	1.8	0	0.0	0	0.0
合計	277	100.0	322	100.0	302	100.0



【概要】

本町では多くの児童生徒が徒歩で通学している。

(2)あなたの通学時間はおよそどのくらい時間がかかりますか。次のア〜キから<u>1つ</u> 選んでください。

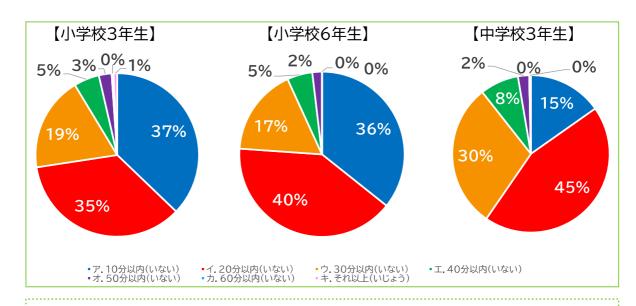
【選択肢】

ア 10分以内	オ 50分以内	
イ 20分以内	カ 60分以内	
ウ 30分以内	キ それ以上	
エ 40分以内		

【集計結果】

(単位 左:人 右:%)

	小学校 3 年生 小学校6年生 中学校3年生		小学校 3 年生 小学校6年生		3年生	
ア	103	37.2	115	35.7	46	15.2
イ	98	35.4	130	40.3	134	44.4
ウ	52	18.8	55	17.1	90	29.8
エ	14	5.0	16	5.0	24	8.0
才	7	2.5	6	1.9	7	2.3
カ	1	0.4	0	0.0	0	0.0
牛	2	0.7	0	0.0	1	0.3
合計	277	100.0	322	100.0	302	100.0



【傾向】

多くの児童生徒が30分以内に通学できている。小学生は「10分以内」、「20分以内」が多い。中学生は「30分以内」も多い。

(3)あなたが<u>**ふだんの通学手段で登下校する場合</u>**、どのくらいの時間までなら通学 できると思いますか。次のア~クから**1つ**選んでください。</u>

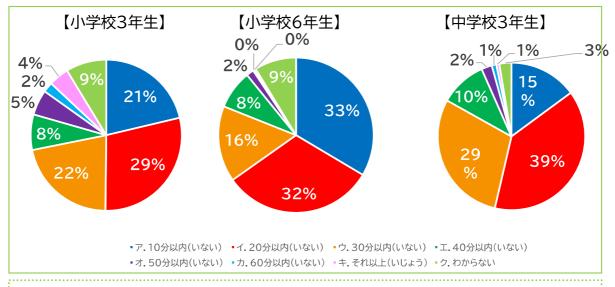
【選択肢】

ア 10分以内	才 50分以内
イ 20分以内	カ 60分以内
ウ 30分以内	キ それ以上
エ 40分以内	ク わからない

【集計結果】

(単位 左:人 右:%)

	小学校 3 年生		小学校6年生		中学校	3年生
ア	59	21.3	108	33.6	45	14.9
イ	80	28.9	102	31.8	117	38.7
ウ	60	21.6	51	15.9	89	29.5
エ	21	7.6	26	8.1	31	10.3
才	15	5.4	5	1.6	7	2.3
カ	6	2.2	1	0.1	3	1.0
キ	12	4.3	1	0.1	2	0.7
ク	24	8.7	28	8.8	8	2.6
合計	277	100.0	322	100.0	302	100.0



【概要】

多くの児童生徒は、10分以内、20分以内、30分以内が通学可能と回答している。小学生では「ク わからない」と回答する児童も一定数いる。

設問5 ご意見について(自由記述)

(1)三芳町では、将来を担う子どもたちにとって望ましい教育環境を整備するため、 学校の適正規模・適正配置に関して調査、研究をしています。ご意見があればお聞 かせください。

【小学校保護者教職員等】 ※適正規模適正配置に係る内容を一部抜粋して掲載

現在設定されている適正規模・適正配置は随分昔に制定されたものですので、学力・個を伸ばすということであれば、現在の適正規模・配置にこだわらず、三芳町らしい教育環境を整備していただけたらいいなと思います。

統廃合となるとさらに遠くから、荷物も重いですし、毎日の通学が負担になるのでかわいそうだなと 思います。

1年生が1学年30人は多いと思う。

現在1学年4クラス規模なのですが、ちょうど良いかと思います。

小学校の数を減らして、専用バスでの通学を検討することが必要ではないでしょうか。

コロナなどの環境を考慮しても人数は35人以下が良いかと思います。

通学に関しては距離が遠くなるほど事故のリスクが増えるため、安全面の整備が必要になると思う。

今後児童数が減少するなら、三芳町の小学校を統合した方がいいかなと思います。その場合は、登 下校時の安全の為 通学バスなどの利用を考えたらどうかなと思います。

教室の広さなどを考えると、1クラス40人は多いように感じます。

また1年生に関しては、授業に集中できず席を立ってしまう子がいたり手がかかると思うので、1クラス2 0~25人くらいが適当なのではないかと思います。

コロナ禍も考慮して、クラスの人数を30人強を希望します。

子供の意見としては、通学の距離が遠すぎるので大変だということです。多少危険はありますが、自 転車での通学を可能にしてほしいということです。

1学級の人数が定められているが、コロナ禍においては、40人学級はかなり密であり、環境が悪いので、例外を設けて学級数を増やしていただきたいです。

登下校時の安全性の確保等は課題になると思う。

適正な人数については、色々な考えがあると思いますが、1クラスしかないのは、クラス替えもなく、寂しい気がします。

少人数は、学習中先生の目が行き届く等メリットもあると思いますが、運動会等のイベントの盛り上がりを考えるとデメリットもあると思います。そういったイベントは、町内の小学校で合同にする等も良いのではと考えます。

また、通常学級でもあまりに人数が少なくなってしまうようなら、スクールバス等を運用して、ある程度 切磋琢磨できる環境を確保していくのが良いのではないかと考えます。

あまりに生徒数が少ないと行事が盛り上がらなくなると思います。通学距離が遠くなりすぎるのは負担になるためスクールバスなどの配慮が必要になると思います。

学校の数が多いと思います。竹間沢小と唐沢小は、中学が一緒になるので、竹間沢小は、学級が1クラスしかないので、廃校にすれば良いと思います。その分、校長も教頭、事務員等も減らせるので、子供の減少に合わせて、学校の数も減らせば良いと思います。

中学も藤久保中と三芳東中も一緒にすれば良いと思います。クラスが増えれば、体育祭も盛り上がります。

1学級の児童数が少なく、また、1クラスしかない場合、6年間ずっと一緒に過ごします。もし子供どうしで性格が合わない・トラブルが起きた際に環境が変えられることが出来ないので、心配があります。

「小学校の通学時間は、法令(※)ではおおむね60分以内として~」と記載されていますが、毎日60分登下校に時間がかかる児童のことを考えられていないと思います。・・・学校教材等のたくさんの荷物を持ち、登下校に60分かかる子がいたら本当に可哀想です。

学校から遠いところに住む児童への対策としては、学校までスクールバスを使うのが良いのではないか と思います。

小学生は、登下校の防犯を最重視して、登下校は10分前後がよい。

1クラスですと、いじめやトラブルがおおい子と離れたくても離れられず、非常に窮屈です。強い子ばかりがノビノビしてます。

学校を統合させると通学距離が増えて特に低学年には負担が多いと感じます。でしたら、通学バスを出せば良いと思います。

1学級40人を基準としているとのことですが現代では多く感じます。25人前後のクラスが理想です。

小学生の間は、なるべく少人数クラスで先生の目が行き届く規模での環境が好ましいと考えております。学距離についても、安全面や、家庭学習やお稽古の時間の確保のためにも短い方が、子どもたちにとってプラスになると思います。

すでに1学年1クラスの時点で、近くの学校との統合を考えていいと思う。

遠い住まいの児童には、通学バスを使えばいいと思うし、学校を残すことよりも、子供の教育環境の統一感の方を優先したほうが、親としても、これから町の少子化を抑えていくためにも大事になると思う。

少子化に伴い、いずれ学校の等配合が行われることはやむを得ないと思いますが、子どもたちの安全を 第一に考えて、スクールバスを出すなどの配慮をしてほしい。

うちの子どもは通学に30分かかり、夏は暑い中歩いて帰ってくるので熱中症など大変心配である。

三芳小と上富小は近いので、マイクロバスなどを利用し、統合して勉強を行ったほうが良いと思う。

35 人学級となる方向で改善後進んでいると思うが、三芳町独自の基準を設けてより少ない人数の学級運営を検討することはできないかと思う。

教室内に生徒が多いので、もう少し学級の人数が少なくなればいいなと思います。

藤久保中の立地場所が通学範囲より遠く、生徒さんは通うのが大変なのではないかと思います。自 転車通学なども考慮すべきではないでしょうか?

児童数減少により、学校の統廃合は必要になると思います。登下校時の児童の安全確保のため、ス クールバス導入も検討していただきたいです。

4年生~6年生も、35人以下のクラス編成で良いのではないか?と思います。

1学年1クラスのみというのは親としては心配です。万が一いじめがあった際、逃げ場がなくなってしまいます。クラスは2クラス以上が望ましいと思います。

学校までの登校距離が長いと心配なので、統廃合はあまりしてほしくない。

1学年1クラスは心配です

少子化で、もしも上富小学校が存続されなかった場合、上富小学校区(上富1区)の子供が三芳小学校まで通うのは遠すぎると思います。通学バスの検討も必要ではないでしょうか。

小学校は徒歩 15 分程度なので問題はないかなと思っていますが、中学校になるとかなり遠くなるので(2.5km 位)疲れた部活後にその距離はキツイなと思います。しかも畑の中、危険が多いです。

少人数の環境で小中学生時代を過ごした身としては、小学校は先生方の各方面での指導の定着など少人数学級のメリットが大きいように思います。でも中学校ではある程度学校の規模が大きくないと、部活の選択肢がなく弱小だったり、先生が指導教科を掛け持ちしたり、進学して大きな集団に入る時に萎縮したり、規模の大きな他校への劣等感につながる要素が増えてしまったり、デメリットが大きくなるように思います。

1クラス40人では教室が狭いです。人数が多いと交流も多くなる場面が増えるかもしれませんが、トラブルも増えます。教職員等の目は行き届くのか疑問です。

三芳小、三芳中の学区ですがかなり遠いので上富以外ではありますが自転車通学を可能にして欲しいです。

安全に通学できる距離、安心して通える通学路で登園してもらいたいと考えております。

長距離の通学は低学年には辛く狭い通学路などもあるため色々と工夫が必要なのは検討されていると思います。

学校を統廃合するのであれば、スクールバスの運行は必要だと思います。危険な道を長い時間、子供だけで歩くよりも安全ではないでしょうか。

少子化に伴う学校の統廃合はある程度やむを得ないとは思うが、通学下校の時間が極端に長くなる のは子供や学童の送り迎えをする保護者の負担増につながるため、配慮が必要だと思う。また、従来は 通学路ではなかった道も通学路になる可能性があるので、歩道の整備も必要。

学級数については学級数が多くても、クラスの人数が30人以下であれば、格差なく指導が行き渡ると思うので気になりません。

整体師をしておりますが、成長期の子供達に背負わせる限度は3キロ位と考えております。

文科省の基準1学級 40 人までという人数の基準は多過ぎると思います。1 学級の人数の基準をもう少し減らしていただけると、先生の目も良く行き届き、手厚い指導を受けることができるのではないかと思っています。

小学校の間は35人学級のままでいいと思います。

1学級あたり30人程度が教員の目が届きやすい人数なのではないでしょうか。

クラスの人数。1クラス、34人は多すぎる。

懇談会でクラスに入ったが、机がぎっしり入っていて教室が狭く感じる。今の時代、密ではないのかと心配になる。クラスの人数が多いから、教師の目が行き届いているのか心配になる。

藤久保中学校が学区の外にあるのは不思議でならない。一番近い子でも徒歩 20 分、遠い子だと 40 分かかるという。真夏の登下校や夏休み中の部活の登下校など今までの常識では想像できないほどの命の危険がある暑さの時などは 水分補給を呼び掛けるだけでは不十分なような気がします。

学校が遠い為、下校してからも宿題をやる時間を作るだけで精一杯。ともだちとの交流もはかれず、 かわいそうに思います。整備の行き届いていない通学路を長距離使うことは不安です。それならば、近 い学校に通えることが親としても子供の生活にもいいと思います。

1クラスしかなく20人以下や、40分以上の通学になってしまう場合、バス等を利用して通学するようにして小学校が合併するのが良いと思う。

クラス人数が少ない方が教師の目は行き届くと思うが、人数が多ければ色々な意見に触れ学ぶこと は多い。

教員の数を維持して、1 学級の人数を減らし、ひとりひとりの生徒に目の行き届いた教育を希望します。

クラスの人数が 20 人を下回っている事で、担任の目が行き届きやすいと思いました。授業参観では全員に個別の声かけをしても滞りなく授業が進み、少人数だからこそ集団としてのまとまりを感じました。また、2 学級ある事で進級時に雰囲気に変化が出たり、新たな友人関係を築く機会がありました。

小学生の間は規模が小さい方が利点が多いと感じています。2 学級あると理想的です。

1 学年に 1 学級だと 6 年間同じメンバーで絆はふかまりますが、友人関係がマンネリ化して進歩しない上、進級しても新鮮味がない。

児童数が多いだけで様々な業務の増大があり、協力体制で行っていますが、負担軽減はなかなか難し く思います。学級数の上限が小学校が変わったことはとても大きなことですが、きめ細やかな指導は30人 以下が理想と感じます。

教育の質を向上させるには、1クラスの人数は少なく、学級数や教員人数は減らさず、という体制が望ましいと考える

子どもたちの数が減ってきたとしても、教員の数はできるだけ減らさずに手厚く・きめ細やかな指導や 教育が行えるようにしていきたいです。

1学級あたりの人数が30人を越えると、色々の活動にやりにくさを感じます。

児童数が少なく、教職員の数も少ない学校では、分掌も多く抱え出張も重なり厳しい状況です。 高学年は、体も大きくなるのに、40人は教室に余裕がない現状です。また、学年が上がるにつれて 学習も難しくなるため、よりよい教育環境を整えるため(きめ細かな指導)には、十分な教職員の人数 か、児童の人数は 20人程度が望ましいと思います。

きめ細かく支援ができるよう1学級あたりの児童数を25人位にする。

小学校に限って言えば、広い学区をカバーするために通学バスの使用も検討してもよいのではないだろうか。

1学級の人数について、4年以上は40人とのことですが、35人以下が望ましい。40人だと身体も大きくなるので、狭い感じがする。先生の目が届きづらいと思います。

【中学校保護者教職員等】 ※適正規模適正配置に係る内容を一部抜粋して掲載

通学についてですが、徒歩 30 分以上かかる距離であれば、自転車通学も可で良いのではないかと 思います。

登校の方法として、徒歩だけになっているが、自転車はいいと思う。通学時間って短ければ短いほどいいです。

少子化が進んでいるなら学校を減らすべき。税金の無駄遣いです。学校縮小に伴い通学距離が増える 子どもは自転車通学を認めるべき。

藤久保3区に住んでいます。中学校まで30分から40分徒歩でかかります。普段は少し遠いなと感じる 程度ですが、何か災害があった時にすぐに行けないので不安に思っています。

藤久保中ですから、藤久保地内にあるといいな、と思っています。

中学校は自転車通学を可にして、学校数を減らしても良いのではとおもいます。

コロナ禍においても、教室の広さを考えると 40 人は適正な環境ではないと思います。教室を分けるか、 人数を減らすなど、例外的措置が必要だと思います。

暑さ対策や、登下校時の安全確保のため、通学に30分以上かかる場合は、自転車通学の許可をしてほしい。

1 学年、1 クラス 35 人程度で 4 クラス (偶数クラス)だと、学校行事や校外学習を行う上でちょうど良い環境だと思います。

1 クラスの人数が多すぎると思います。コロナ禍なのに教室が密になり、狭いので荷物を置く所も限られて、子供達も活動しづらいそうです。先生方も一人で多くの生徒を見なければならず、負担が大きいのではないでしょうか。

部活動の選択肢が狭くなり充実した学校生活が送れなくなっている。人間関係が限定的になりいじめ等の問題が起こり得る可能性が高くなっている。

上富小は例えば三芳小と合併して、かなり遠い場所にはスクールバスを運行するなどもひとつかなと思います。中学生にとっては部活も重要なものと思いますので、ある程度の生徒数減少で活動や選択肢が狭まるのは残念です。

小学校は低学年および夏季の熱中症等を考慮し、徒歩で15分圏内ぐらいにあると良い。

通学バッグの重さや夏の熱中症の心配もあるので、一定の距離を超える家庭の生徒の自転車通学を許可して欲しいです。

藤久保中学校、子供の数が減少し学級数が少なすぎます。そしてひと学級の人数が上限ギリギリ(38~39人)すぎて、ひとクラスの人数が多すぎます。これでは先生の目が行き届きません。

生徒数が少ないことで、中学校での部活動の選択肢が少ないのが不満です。

大規模校、小規模校とそれぞれの良さがあると思いますが、三芳町の場合には、特に小学校において、その差が大きく、教育格差が懸念される。町内である程度バランスの取れた配置を検討する必要があると思います。

多様性を大事に教育活動をするためには、教師の人数を増やし、1 クラスの人数を減らしていかなければならないと思います。

三芳町の道路が貧弱な為、徒歩や自転車の通学は危ないので通学バスを整備すべきだと思います。

